

# 大雨時に雨水貯留槽が 治水効果を発揮しました

排水路に流しきれない大雨を、伊奈波貯留槽(設置場所:伊奈波神社参道南側)と梶川町貯留槽(設置場所:都市計画道路岐阜駅高富線)に一時的に貯留することで、貯留槽下流の今泉排水路周辺の被害を軽減しています。

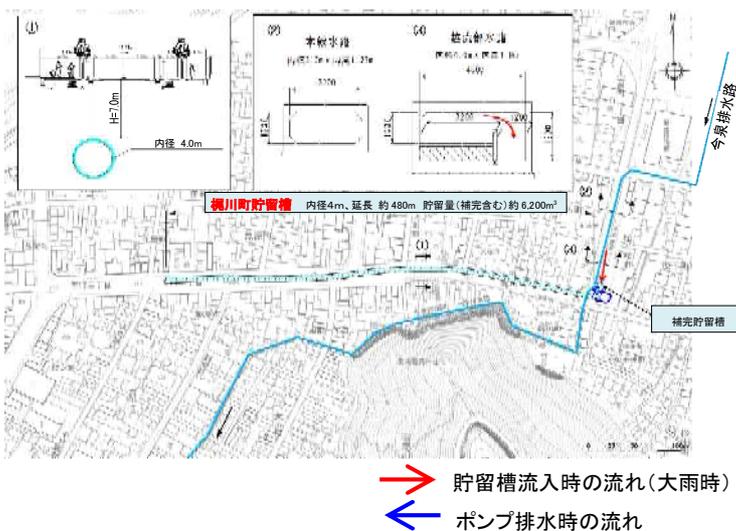
## 伊奈波貯留槽



## ＜伊奈波貯留槽の概要＞

- 伊奈波貯留槽は、伊奈波神社参道南側の広場の地下にあり、総貯留量が約 8,600m<sup>3</sup> (小学校の25mプール約28杯分)の鉄筋コンクリート製箱型水槽(縦51.2m、横36.2m、深さ5.8m)です。
- 大雨の時に今泉排水路と伊奈波神社の山から流れてくる雨水を一時的に貯め、今泉排水路の水位低下後、ポンプで今泉排水路へ排水します。
- 昭和51年9月の集中豪雨での被災を契機に梶川町貯留槽とともに今泉排水路を補完する施設として排水路計画に組み入れ、昭和55年10月に工事着手し、昭和56年12月に完成しました。

## 梶川町貯留槽



## ＜梶川町貯留槽の概要＞

- 梶川町貯留槽は、都市計画道路岐阜駅高富線の地下にあり、総貯留量が約 6,200m<sup>3</sup> (小学校の25mプール約20杯分)の鉄筋コンクリート製筒状水槽(内径4m、延長約480m)です。
- 大雨の時、今泉排水路に流れる雨水を一時的に貯め、今泉排水路の水位低下後、ポンプで今泉排水路へ排水します。
- 昭和51年9月の集中豪雨での被災を契機に伊奈波貯留槽とともに今泉排水路を補完する施設として排水路計画に組み入れ、平成23年9月に工事着手し、平成26年10月に完成しました。

お問い合わせ

岐阜市 基盤整備部 河川課

〒500-8701 岐阜市司町40-1 TEL:058-214-4846

(注)25mプール容量は、長さ25m×幅10m×深さ1.2m=300m<sup>3</sup>で計算しています。

# 大雨時に雨水貯留槽が 治水効果を発揮しました

貯留槽へ雨水の一部を貯留することで、貯留槽下流の今泉排水路周辺の被害を軽減しています。

大雨時の主な流入実績を下表に示します。

大雨発生日月日	流入量			最大1時間雨量
	伊奈波貯留槽	梶川町貯留槽	25mプール換算	
(集中豪雨) 平成22年7月15日	約4,400m <sup>3</sup>	—	約14杯	77mm
(台風17号) 平成25年9月4日	約4,100m <sup>3</sup>	—	約13杯	79mm
(集中豪雨) 平成26年8月17日	約4,800m <sup>3</sup>	—	約16杯	28mm
(台風19号) 平成26年10月13日	約6,200m <sup>3</sup>	—	約20杯	44mm
(台風21号) 平成29年10月22日	欠測	約4,900m <sup>3</sup>	約16杯	36mm
(平成30年7月豪雨) 平成30年7月7日	約540m <sup>3</sup>	約4,600m <sup>3</sup>	約17杯	35mm

お問い合わせ

岐阜市 基盤整備部 河川課

〒500-8701 岐阜市司町40-1 TEL:058-214-4846

(注)25mプール容量は、長さ25m×幅10m×深さ1.2m=300m<sup>3</sup>で計算しています。